

1. 次の2次方程式  $x^2 - 2ax - 2a + 8 = 0$  について、次の各場合における定数  $a$  の値の範囲を求めよ。【各10点】

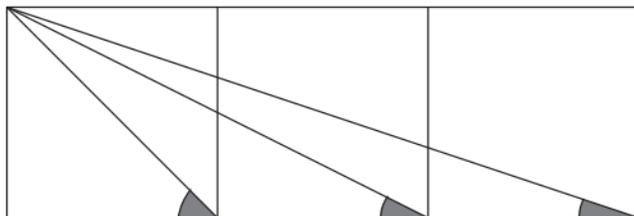
- (1) 正の解と負の解を1つずつもつ
- (2) 異なる2つの正の解をもつ

<Challenge!!>

2次不等式  $x^2 - (a+3)x + 3a < 0$  を満たす整数  $x$  がちょうど2個だけあるように、定数  $a$  の値の範囲を定めよ。

<楽しい角度問題>

3つの正方形を組み合わせた図形があります。色のついた3つの角度の和は何度ですか。



類題

放物線  $y=x^2+2mx+2m+3$  と  $x$  軸が次の範囲において異なる2点で交わるとき、定数  $m$  の値の範囲を求めよ。

- (1)  $x > 0$                       (2)  $x < 0$                       (3)  $x \leq 2$   
 (4) 1点は  $x < 1$ , 他の1点は  $x > 1$

※配点 ①②各 0.5 点  得点 <input style="width: 50px; height: 30px; border: 1px solid black;" type="text"/>	⑪		⑨		⑦		⑤		③		①	
	彼の厚顔ムチな振る舞いに閉口する	ついにホコロビが出た	新しい産業がオコッタ	知人を招いてムネアゲを行う	財政危機にオチイル	悪徳商人のエジキになった						
⑫		⑩		⑧		⑥		④		②		
ロンシをまとめる	旧友をトムラウ	二審で判決がヒルガエッタ	彼は賭け事にオボレテしまった	イサギヨク己の過誤を認めた	コトノヨシを細大漏らさず報告する							

漢検2級 漢字テスト 34 氏名  
 次の文のカタカナを漢字に直せ。(送り仮名もかく)

1. 2次方程式の解の正負 【各10点】

- (1)  $a > 4$       (2)  $2 < a < 4$

<Challenge!> (+5点)

$$1 < a < \frac{5}{2}$$

<角度問題> (+5点)

90°

類 題

1. 2次方程式の解の正負

$$-1 < a < 0$$

(1)  $-\frac{3}{2} < m < -1$       (2)  $m > 3$

(3)  $-\frac{7}{6} \leq m < -1, m < 3$

(4)  $m < -1$

⑪ 彼の厚顔ムチな振る舞いに閉口する	無恥	⑨ ついにホコロビが出た	綻び	⑦ 新しい産業がオコッタ	興った	⑤ 知人を招いてムネアゲを行う	棟上げ	③ 財政危機にオチイル	陥る	① 悪徳商人のエジキになった	餌食
⑫ ロンシをまとめる	論旨	⑩ 旧友をトムラウ	弔う	⑧ 二審で判決がヒルガエッタ	翻った	⑥ 彼は賭け事にオボレテしまった	溺れて	④ イサギヨク己の過誤を認めた	潔く	② コトノヨシを細大漏らさず報告する	事の由

## チェックテスト解説

解  $f(x) = x^2 - 2ax - 2a + 8$  とおくと

$$f(x) = (x-a)^2 - a^2 - 2a + 8$$

(1)  $y=f(x)$  のグラフが右図のようになればよい。

$x=0$  のとき  $y$  の値が負であればよいので

$$f(0) = -2a + 8 < 0 \quad \text{よって} \quad a > 4 \quad \text{㊦}$$

(2)  $y=f(x)$  のグラフが右図のようになればよい。

(i)  $x$  軸と異なる 2 点で交わるから

$$\frac{D}{4} = (-a)^2 - (-2a + 8) = (a+4)(a-2) > 0$$

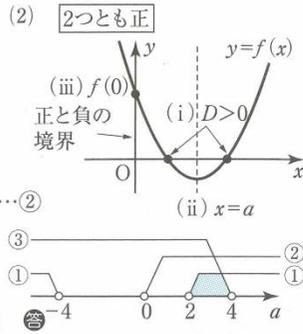
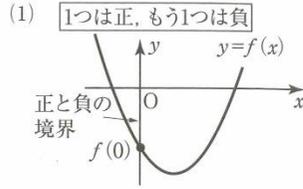
ゆえに  $a < -4, 2 < a \dots\dots \textcircled{1}$

(ii) 軸  $x=a$  が  $x$  軸の右側にあるから  $a > 0 \dots\dots \textcircled{2}$

(iii)  $x=0$  のとき,  $y$  の値が正だから,

$$f(0) = -2a + 8 > 0 \quad \text{より} \quad a < 4 \quad \dots\dots \textcircled{3}$$

よって,  $\textcircled{1}, \textcircled{2}, \textcircled{3}$  の共通範囲を求めて,  $2 < a < 4 \quad \text{㊦}$



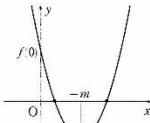
## 類題解説

$f(x) = x^2 + 2mx + 2m + 3$  とする。  
放物線  $y=f(x)$  は下に凸で, 軸は直線  $x=-m$   
また,  $f(x)=0$  の判別式を  $D$  とすると

$$D = (2m)^2 - 4 \cdot 1 \cdot (2m + 3) \\ = 4(m^2 - 2m - 3) = 4(m+1)(m-3)$$

(1) 放物線  $y=f(x)$  と  $x$  軸が  $x > 0$  の範囲において異なる 2 点で交わるのは, 次の 3 つが同時に成り立つときである。

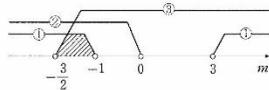
- [1]  $D > 0$
- [2] 軸について  $-m > 0$
- [3]  $f(0) > 0$



- [1] から  $(m+1)(m-3) > 0$   
よって  $m < -1, 3 < m \dots\dots \textcircled{1}$
- [2] から  $m < 0 \dots\dots \textcircled{2}$
- [3] から  $2m + 3 > 0$   
よって  $m > -\frac{3}{2} \dots\dots \textcircled{3}$

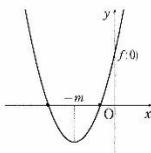
$\textcircled{1}, \textcircled{2}, \textcircled{3}$  の共通範囲を求めて

$$-\frac{3}{2} < m < -1$$

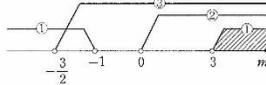


(2) 放物線  $y=f(x)$  と  $x$  軸が  $x < 0$  の範囲において異なる 2 点で交わるのは, 次の 3 つが同時に成り立つときである。

- [1]  $D > 0$
- [2] 軸について  $-m < 0$
- [3]  $f(0) > 0$

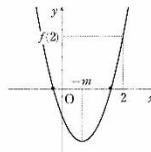


- [1] から  $m < -1, 3 < m \dots\dots \textcircled{1}$
  - [2] から  $m > 0 \dots\dots \textcircled{2}$
  - [3] から  $m > -\frac{3}{2} \dots\dots \textcircled{3}$
- $\textcircled{1}, \textcircled{2}, \textcircled{3}$  の共通範囲を求めて  $m > 3$



(3) 放物線  $y=f(x)$  と  $x$  軸が  $x \leq 2$  の範囲において異なる 2 点で交わるのは, 次の 3 つが同時に成り立つときである。

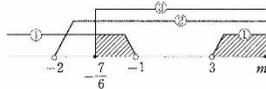
- [1]  $D > 0$
- [2] 軸について  $-m < 2$
- [3]  $f(2) \geq 0$



- [1] から  $m < -1, 3 < m \dots\dots \textcircled{1}$
- [2] から  $m > -2 \dots\dots \textcircled{2}$
- [3] から  $6m + 7 \geq 0$   
よって  $m \geq -\frac{7}{6} \dots\dots \textcircled{3}$

$\textcircled{1}, \textcircled{2}, \textcircled{3}$  の共通範囲を求めて

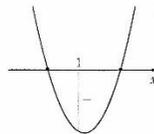
$$-\frac{7}{6} \leq m < -1, 3 < m$$



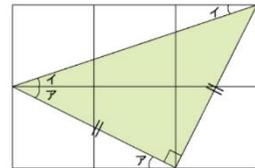
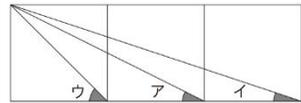
(4) 放物線  $y=f(x)$  と  $x$  軸が  $x < 1$  と  $x > 1$  のそれぞれの範囲において 1 点ずつ交わるのは

$$f(1) < 0$$

が成り立つときである。  
すなわち  $4m + 4 < 0$   
よって  $m < -1$



## 楽しい角度問題



図のような正方形のマスの中には直角二等辺三角形ができます。アとイの角度の和は  $45^\circ$  です。  
ウの角度は  $45^\circ$  なので, 3 つの角の和は  $90^\circ$  度となります。